

ふるさとのお宝再発見

46

市民新聞グループの土曜特集

週刊



この特集をさらにご希望の方は、新聞販売店がお近くのコンビニでお求め下さい

かしおしや
柏尾社本殿などの社殿建築・彫刻

彫刻 宝尽くし！②

富士見町ほか

諏訪市湖南後山「道祖神と宝尽くし」
5月17日の本特集「宝尽くし」を読まれた
諏訪市の道祖神巡りが興味というOさんから



①

お便りをいただいた。後山の道祖神の円形中
区の上辺に彫ってある紋様が驚いたことに
「宝尽くし」になっていた。とのことで、早
速見学に行きました。文政5年(1822)の
銘があり、上部左から隠れ笠、隠れ笠、宝
珠、巻き物、打出の小槌、金鏡(きんのう)
が彫られています(写真①)。北斎漫画の初
編の刊行が文化11年(1814)、十編が文
政2年(1819)、北斎60才ですからことに
よると見て描いたのでしょうか。二代立川和
四郎富昌はこの時40才ですから富昌の彫刻を



②

石工が見て彫り込んだと考えることもできま
す。いずれにしても道祖神の中でも大変し
立科町「津金寺妙見堂の宝尽くし」
二代立川和四郎富昌(1782~1856)
写真②
この際はおごとと予約をして見学に行っ
てきました。妙見堂は、富昌とその弟子地元
茂田井の田中蔵によって天保7年(1836)
に造られました。妙見菩薩は北極星を神
格化していて国土を守護し、人の福寿を増す



③



④

とされる。明治13年
には覆い屋の中に取
まったようですが、
基礎に不同沈下によ
る不陸が生じて若干
不安定になってい
て、本殿も傷みが見
られますが、富昌揮
身の彫刻は正面の龍
に左右木鼻の猿2
頭、唐獅子は四方に
なんと16頭、海老虹
梁の昇り龍に下り
龍、手挟みの牡丹の籠彫り、脇障子には鹿を
つれた寿老人に桃を持った西王母。正面唐破
風虹梁下の龍に、梁上は宝尽くし(写真③)
左から宝珠、金鏡、打出の小槌、隠れ笠、隠
れ笠、宝珠。床面の下壇にも唐獅子牡丹(写
真④)、親子獅子、羊、兎、犬、鯉の滝登り、
麒麟、神亀、菊花、波に千鳥、全面を覆うほ
かりの華麗な彫刻は一体覆い屋のない完成し
た時の素木で見たら唖然として言葉も無いと

思われる彫刻です。時間をかけて全てを検証
してみたいものです。津金寺は春の山野草の
時期になると山の斜面を山野草が咲き誇り大
変見事です。お祭りもしていますので是非お
出かけください。立派な彫刻も覆い屋に囲われ
ると保存状態はよくなりますが空間が狭くて
彫刻や全体像が見えにくくなって写真も撮り
にくく残念です。

富士見町小六の「柏尾社本殿」写真⑤
本殿は大山祇神(おおよまつみのかみ)を
祀り、天保8年(1837)棟梁白鳥弥四郎
(1795~不明)の彫刻である。諏訪市史
年表には「弥四郎は文政元年(1818)法
華寺庫裡を十三面て請け負う。文政2年中洲
の人三郎兵衛順房・白鳥弥四郎と名を改め建
築及び宮彫りの技を高部村初代藤森広八に学
びのち立川富昌に師事する。上社入口の四脚
門や布橋を藤森広八と共に建てる」とあり、
のちに、寧ろ若宮八幡社、
高遠の五郎姫神社(1884
O)や神宮寺の北斗神社を
建てています。さてこの柏
尾社の宝尽くしは、大菱菱
わつています。本殿左右の
外壁、大きな縦68寸、横
63・5寸の面に彫り込んだ
り、貼り付けてあるのです。



画像A



画像B

その中で、家紋にもある(画像A)は一体何
のお宝だと思えますか。実はこれは、束ね熨
斗(のし)です。熨斗は本来「のしあわび」
の事でアワビの肉を薄く剥き長く引き伸ばし
乾燥させた保存食であった。後に儀式の肴
祝儀の進物となった物で縁起物、お宝なので

す。熨斗袋の右上の赤く織り込
だ包みの中央に黄色く見えるのは
熨斗アワビなのです(画像B)。
本殿正面向かって左の壁(写真⑥)
に宝ちやく(鍵)、宝珠、金鏡、
打出の小槌、束ね熨斗。右の壁(写真⑦)に
は隠れ笠、軍配、隠れ笠。宝尽くし以外の彫
刻も鳳凰、茄子と葉っぱ(何故茄子なのでし
ょうか?初夢の一富士、二鷹、三茄子で縁起
がよいと言ったのでしょうか)、唐破風下の
龍(写真⑧)、海老虹梁は昇り龍に下り龍

波や菊花、脇障子の竹に虎と唐獅子牡丹、木
鼻は象に獅子、手挟みは牡丹の籠彫り、実に
見事です。立川流の中ではあまり名前が出て
きませんが、まさに名士です。
諏訪市四賀普門寺の「足長神社」
写真⑨
本特集でもおなじみの手長神社宮坂清宮司
に足長神社にも有ると教えてもらい見えてき
ました。拝殿の虹梁と唐破風との空間に左から
隠れ笠、宝珠、隠れ笠、打出の小槌、金鏡、
宝珠が見えます(写真⑩)。木鼻唐獅子、牡

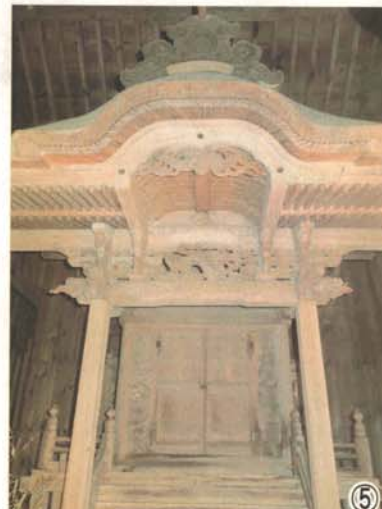
丹、兎の毛通しの飛龍や内部の脇の登り龍に
下り龍その他、麒麟、鳳凰、鷹、鶴の彫刻が
見事です。金網で保護されていて見にくい
のは残念です。
拝殿は天保13年(1842)大隅流一代矢
崎善司(専司)矩慶(1801~1845)
らによって建てられている。境内には文久2
年(1862)に弟の矢崎房之進や三代善司
照恭によって建てられた舞屋もあっていすれ
も市の有形文化財に指定されています。



⑥



⑦



⑤



⑧



⑨



⑩

宝尽くしのお宝は近在にまだ、
たくさんあるように、新しい発
見を楽しみにします。
暑いかなと思えば寒くなり、寒
いかと思えば暑くなる天候不順
な日が続いていますが、いつか
どこかで「のしあわび」を肴に
一献傾けたいと思っただけです。
筆者注
※画像Aは「日本の家紋七〇〇
〇」(新人物往來社)からの引用
です。
(岡谷市文化財保護審議会委員、
諏訪市文化財専門審議会委員、
諏訪総合設計代表の宮坂正博さ
んに執筆していただきました)
次回は箕輪町南小内河の「おき
んやり行事」を紹介します。